

土木図書館におけるデジタルライブラリーへの取り組み（その2）

(社) 土木学会附属土木図書館 正会員 坂本真至

1. はじめに

筆者は2005（平成17）年に「土木図書館デジタルライブラリーへの取り組み」と題して、情報技術を活用した次世代図書館としての土木電子図書館（デジタルライブラリー）の歴史と現況の課題について報告した。今回はそこで提起された課題を踏まえ、2005年以降の進捗状況と今後の課題について述べる。

2. 検索システムの拡張

さきに関連されたnamazuによるフリーキーワード全文検索に加えて、2006（平成18年）に新たに「連想検索」と「一致検索」を導入、2006年10月から一般に向けたテスト稼働を開始した（図-1）。連想検索とは、「汎用連想計算エンジン（GETA）」をベースに、これまで目録・書誌データベースに蓄積された約30万件の文献情報データを、独自の関連付けにより、文献の持つ多様性を引き出そうとするもので、従来のnamazu検索が文献を絞り込んで特定していくのとは違い、意外性も含む関連のありそうな文献を次々に展開・表示していくシステムである。あまりにも広がり過ぎて收拾がつかなくなるケースもあるが、使い方を工夫することにより、研究者や技術者の方々に豊富なイメージを提供することを狙いとしている。

また、一致検索とは、例えば論文のフルタイトルをそのまま入力しても当該論文がヒットするような、ピンポイント検索の仕組みである。文献名や著者名がはっきりしていて、それがあつかないかを調べる際には、便利な機能であると思われる。これらの評価は別の論稿に譲るが、土木デジタルライブラリーの重要な柱のひとつである検索システムについての拡張がなされたといえよう。

なお、論文のタイトル・著者名・掲載誌名・巻号ページ・抄録・キーワードなどの書誌情報データの件数は、2005年3月時点の30万件から、2007年3月では32万5千件と2年間で2万5千件の増となっている。



図-1 土木図書館検索システムメニュー画面

3. 土木デジタルアーカイブスの拡張

土木デジタルアーカイブスでは、土木の貴重な資料類を原文・オリジナル写真・絵葉書などで紹介している。その全体は表-1に示す通りであるが、特に拡張した部分を以下に述べる。

キーワード：土木図書館，データベース，デジタルアーカイブ，デジタルライブラリー，連想検索

連絡先：〒160-0004 東京都新宿区四谷1 Tel 03-3355-3596 Fax 03-3355-6055 Email:sakamoto@jsce.or.jp

戦前貴重雑誌では1920(大正9)年11月から1944(昭和19)年7月まで発行された『道路の改良』全巻を追加公開した。掲載記事の件数は5,265件となっている。戦前貴重図書では、土木学会選定戦前名著55冊を追加して全100書とした。目次と章毎のPDFファイルで構成し、番外編として『治水摘要』なども掲載している。また従来の古市公威旧蔵資料館を全面的に修正し、土木人物アーカイブスとして真田秀吉、青山士、宮本武之輔、八田與一のページを新設して、プロフィール、著書・論文、写真集などを紹介している。さらに、阪神・淡路大震災10周年行事実行委員会企画による『阪神・淡路大震災10年』、『関東大震災から阪神・淡路大震災直前まで』を震災デジタルライブラリーの第1,2巻として収録し、地震・震害・耐震に特化した書誌情報及びアーカイブ約1.9万件の他、関東地震関連の写真コレクション、新潟地震他災害写真を紹介している。

表-1 土木デジタルアーカイブス公開リスト

種類	内容	収録範囲
戦前貴重雑誌	学会誌, 論文集, 工学会誌(土木篇), 建設, 土木満州, 土木建築工事画報などの目次html及び記事単位の全文PDF	学会誌 大正4年(1巻1号)~昭和30年(40巻12号) 論文集 昭和19年(1号)~30年(30号), 工学会誌 明治14年(1巻)~大正10年(452巻), 建設・土木満州 昭和11~19年 土木建築工事画報 大正14年(1巻)~昭和15年(15巻) 道路の改良 大正9年(1巻)~昭和19年(26巻)
戦前名著・内務省関連資料	土木学会戦前名著100書+番外編 内務省土木出張所工事資料	100冊+ストルムボイシン著『治水摘要』など13冊 100冊
土木写真・絵葉書	古市公威旧蔵写真, 戦前絵葉書, 橋梁写真, その他工事写真などのjpgファイル	古市公威旧蔵写真集117点(解題付) 戦前土木絵葉書3,600点, 橋梁工事写真900点, その他工事写真2,300点
歴史的鋼橋集覧	橋梁仕様データ, 写真, 位置図, 一般図など	歴史的鋼橋900橋(鋼構造委員会歴史的鋼橋調査小委員会提供)
基準類	道路構造令, コンクリート標準示方書	道路構造令 大正8, 昭和3, 昭和10, 昭和11(解説) コンクリート標準示方書 昭和6~26年
土木人物アーカイブス	古市公威, 真田秀吉, 青山士, 宮本武之輔, 八田與一の関連資料	プロフィール, 著書・論文, 関連文献, 写真集など
震災デジタルライブラリー	Vol1.『阪神・淡路大震災10年』, vol2.『関東大震災から阪神・淡路大震災直前まで』 震災関連写真コレクション	阪神・淡路大震災から10年間の土木学会発行の文献約1万件 関東大震災から70年間の土木学会発行の文献約9,000件 関東大震災調査報告収録写真, 震災復興写真, 新潟地震写真その他3,200点

4. 今後に向けて

土木図書館検索ページへのアクセス数は年間約20万件となっている(図-2)。図書館来館者数は年間5千人弱であるから、インターネットを介しての利用者が圧倒的に多いことがわかる。この傾向は今後ますます加速するものと思われる。従って、如何に土木デジタルライブラリーを拡張・充実させていくかが、土木図書館の存立の鍵を握っていると言えよう。土木図書館では学会情報資源のデジタル化を鋭意進めており、学会誌・学会論文集・委員会主催論文集などはほぼデジタル化を終えている。公開ルールの確立が大きな課題であるが、これが実現すれば会員及び一般への貢献は多大なものとなり、土木図書館の存在意義が高く評価されることとなる。ぜひとも実現させたい。

参考文献

- 土木図書館におけるデジタルライブラリーへの取り組み
坂本真至, 年講, vol160, 2005, CS12-005
- 汎用連想計算エンジン(GETA)公開HP:
<http://geta.ex.nii.ac.jp/>

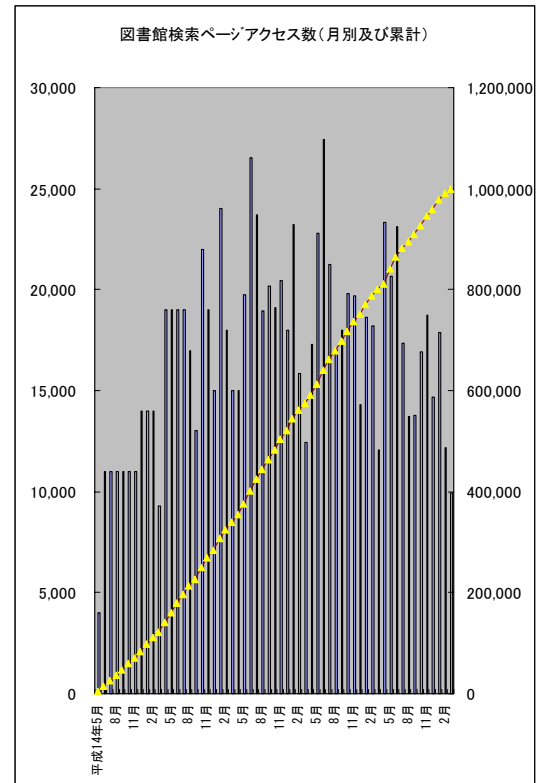


図-2 検索ページアクセス数(2002.5~2007.3)